

第1回「4K8K 機材展」、 第2回「映像伝送 EXPO」が開催

神谷 直亮

「4K・8K 機材展」「映像伝送 EXPO」「光通信技術展」「次世代モバイル通信展」の4つの展示会から構成される「通信・放送 Week 2018」（主催、リード エグジビジョン ジャパン）が、4月4日～6日までの3日間にわたって東京ビッグサイトで開催された。主催者の発表によれば、出展者は256社・団体、総来場者数は24,852人に達したという。本稿では、初の開催で話題を集めた「4K8K 機材展」と第2回「映像伝送 EXPO」を中心にレポートする。

東京ビッグサイトの西1、2ホールの展示会場を一回りして、意表を突かれたのは、エーティコミュニケーションズとビビッドの両社による中継車の出展だ。

エーティコミュニケーションズは、エルグランド車の車上にインマルサット社のグローバルエクスプレスサービスに対応するコプハム社製アンテナ（直径1m）を搭載して出展した。特色は、4K HDR にいつでも対応できることと、極力エコを追求していることの2点で、エコの最たるものは3.6 KVA の NMG 発電装置（ニューマスコットジェネレーター）だ。その他、同社のブースには、サットキューブ製超小型平面アンテナ、CCT シリーズの超小型可搬アンテナ、ウルトラポータブル可搬アンテナなどが並んでいた。

長野県に本社を構え「中継よろず屋」を自認するビビッド（VIVID）も4K HDR 対

応の中継車を会場に持ち込み話題を集めた。搭載している4Kカメラは、日立国際電気の「SK-UHD4000」とのことであった。また、同社は、現在8台の中古中継車を所有しており、販売はもちろん貸し出しも行うと語っていた。

次いで、8K映像の競演が印象的であった。感動的なコンテンツと伝送の妙を競ったのは、BOE ジャパン、NTT コミュニケーションズ、ピーディシー（PDC）、NHK である。

中国のBOEの日本法人、BOE ジャパンは、4台の大型8Kディスプレイ（110インチ3台、98インチ1台）をブースに並べて、それぞれに同社が撮影した超高精細映像を再生して見せた。しかし、同社が売り込んでいたのは、コンテンツでもディスプレイでもなく、新開発の8Kデコード・プレイヤー（STB）による8K映像配信システムであった。ブースの担当者は、「このSTBをインターネット回線に繋がれば、いつでもどこでも8K映像が受信できる。秘密は、BOEの映像配信クラウドを基盤にした伝送システム」と語っていた。また、同社のブースには、スタジオの臨場感を出すために池上通信機の8Kカメラが設置されていた。

NTT コミュニケーションズは、同社の豊富な回線を使って4K8Kリアルタイム伝送のデモを行って見せた。具体的には、

80Mbpsに圧縮した8K映像、非圧縮4K映像、40Mbpsに圧縮した4K映像の伝送デモで、来場者がつぶさに画質比較ができるようにアレンジしてあった。4K非圧縮映像の伝送スピードを聞いて見たら、「6Gbpsの光回線を2本使って、12Gbpsで伝送している」との回答であった。

PDCは、デジタルサイネージ向け8K映像の配信デモを実施していた。「アフィシエ（AFFICHER）」と名付けたPDC独自のクラウド型配信システムを使うのがミソである。ブースの担当者は、「ライブ放映、空間演出、製品のプロモーションなどに活用して欲しい」とPRに余念がなかった。STBを見せてもらったなら、ソシオネクストの「エスイイト（s8）」メディアプレーヤが使われていた。

NHKは、8Kシアター（300インチスクリーン）を特設して、「2017年紅白歌合戦」「平昌オリンピックフィギュアスケート」「サカナクションライブ」のダイジェスト版を上映して人気を得ていた。

さらに、展示会のテーマに則った4K8K関連機材の展示が脚光を浴びた。この分野の出展者は、アストロデザイン、朋栄、キヤノン、ミハル通信、ターボシステムズなど数えきれないくらい多かった。

アストロデザインは、屋外収録から局内制作まで幅広い運用ができる8K SSDビデオレコーダ「HR-7518」（60Hz対応モ



写真1 エーティコミュニケーションズは、インマルサット社のグローバルエクスプレスサービスに対応するエコ衛星中継車を披露して注目を集めた。



写真2 ビビッドは、4K HDR 対応の中継車を会場に持ち込み来場者の意表を突いた。



写真3 BOEは、新開発の8Kデコード・プレイヤーと4台の大画面8Kディスプレイを使って8K映像配信システムのデモを行った。



写真4 BOEのブースには、池上通信機の8Kカメラが設置されており、ライブデモも行われた。



写真5 キヤノンは、まだ開発中という8K HDR対応のカメラを参考出展した。



写真6 ヴィレッジアイランドは、低遅延光ファイバー伝送用の新製品「VICO-4H」コンバータを使ったデモを実施して関心を買った。

デル)と「HR-7518-A」(120Hzフルスペック対応モデル)を紹介して来場者の目を引いた。SSDパックは、2TBと4TBを用意しているという。同社のブースには、8K 120pカメラと8K 120Hz駆動の55インチLCDモニターも並んでおり、8K機材のオンパレードであった。

朋栄は、8Kリニアマトリクス色域コンバータ「LMCC-8000A」と4Kテスト信号発生器「ESG-4100」を目玉にして出展した。共に新製品で「LMCC-8000A」は、3G-SDI x 8の8K-DGI信号と3G-SDI x 16の8K 4:2:2フル解像度信号に対応し、SDRとHDR、PQとHLG、ITU-R BT.709とBT.2020などの相互変換を実現する。

キヤノンは、5.9Kフルサイズセンサーを搭載したデジタルシネマカメラ「EOS C700FF」に加えて、まだ開発中というスーパー35mmサイズのCMOSセンサー搭載の8K HDRカメラを参考出展した。この8K HDRカメラで撮影した映像は、すでにいろいろな展示会で紹介されているが、同社らしく「まだ開発中」の一点張りであった。モニターについても、29インチと55インチの8K HDR対応の製品が出来上がっているようであったが「まだ参考出展」と語っていた。

ミハル通信は、医療現場で使うことを想定した8K HEVCエンコーダシステムを参考出展して注目を集めた。8Kの内視鏡手術の映像を200分の1に圧縮して、別室の8Kテレビにライブで配信できるという。これまでケーブルテレビや放送局向けの機材で実績を積み重ねてきたミハル通信が、医療分野に注目し出したというのは非常に興味深い。なお、同社は、12月1日から始まる新4K8K衛星放送対応のISDB-S3

変調器とRFアナライザーのデモも実施していた。

ターボシステムズは、8K SHV XJiveプレイヤー「OTH083」を紹介し、シャープの70インチ8Kテレビで映像を再生して見せていた。8K 60p H.265/HEVC 4:2:0 10bitリアルタイムデコーダとして仕上げられており、HDR MMT受信にも対応できる。コーデックのビットレートについては、「標準の100Mbpsを想定しているが、設計上は最大200Mbpsまで可能」と語っていた。

4K関連の機材の展示やデモもたくさん行われていた。この分野の出展者で話題を呼んだのは、ヴィレッジアイランド、ブリッジリンク、ピクセラ(Pixela)、エクスプローラ、理経、三友だ。

ヴィレッジアイランドは、「VICO-4」「VICO-4H」「VICO-8」の売込みに余念がなかった。よく知られるようになった「VICO-4」は、ビジュアリーロスレス圧縮技術「TICO」を組み込んだコンバータで、3G-SDI同軸ケーブル1本で4K映像を伝送できる。つまり、2K伝送環境のまま4K伝送環境に移行できる貴重な製品と言える。新製品の「VICO-4H」

は、「VICO-4」のSFP+光トランスリーバ対応モデルで、「VICO-8」は、NHKと共同開発した8K対応のコンバータである。


ブリッジリンクは、中国ユニルミン社製の大型LEDディスプレイ「BL-1.2」を紹介した。


1.2ミリピッチの新製品で、110インチでフルHD、220インチで4Kの高精細映像を実現する。

Pixelaは、新4K衛星放送に対応する4Kスマートチューナー「PIX-SMB400」と4K HDRでの再生に対応したスマートボックス「KSTB-5043」を披露した。スマートチューナーについては、新4K衛星放送のみならずYouTube 4KやNetflix 4Kも視聴できるという。

エクスプローラは、2K/4KビデオのIP伝送を実現するHEVCエンコーダ「EHU-2400E」を出展し、理経はハイビジョン(Haivision)社のHEVCエンコーダ/トランスコーダ「KBシリーズ」を紹介した。「KBシリーズ」については、「4K 360度VRライブ配信にも対応できる」と語っていた。三友は、85インチ縦型の4K裸眼3D液晶ディスプレイを出展し、臨場感をアピールしていた。中国のニュートップ3D社製で、オークテイル(Oaktail)という製品名が付けられていた。

Naokira Kamiya
衛星システム総研 代表
メディア・ジャーナリスト






HD TV, 3D TV and IP OVER SATELLITE ECO OPERATION

スマート・サテライト・ニュース・ギャザリング

http://www.bizsat.jp

ニッサン新エルグランド4WD
5名定員
1.2m径・自動捕捉アンテナ搭載
車高2.2m以下(地下駐車場可)
3.6 KVA NMG アイドリング運用
水圧エコ・ポール4m 搭載
強化サスペンション
国内(100V)海外(240V)対応
IPコントロール
ハイビジョン映像伝送
運転席からワンマンオペレーション



設計・製造・衛星通信のことなら
エーティコミュニケーションズ株式会社
TEL: 03-5772-9125

AI Communications k.k.